



2010/1/13開催・月例セミナー

# 頑張れ、日本株アクティブ運用！

～掘り出せ、世界に通じる日本の価値～

## アンケート結果

HCアセットマネジメント株式会社



# 「セミナーテーマに関するアンケート」結果報告

---

## 日本株の低迷の原因

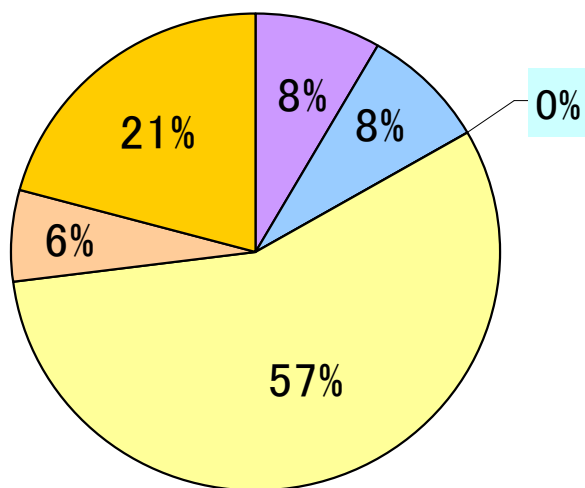
海外の日本株マネジャと日本の日本株マネジャの対比  
についてアンケートを実施。

- ・セミナー参加者人数 計55名
- ・アンケート回答者人数 計48名

**回答率 : 87%**

※小数点第一位以下切捨

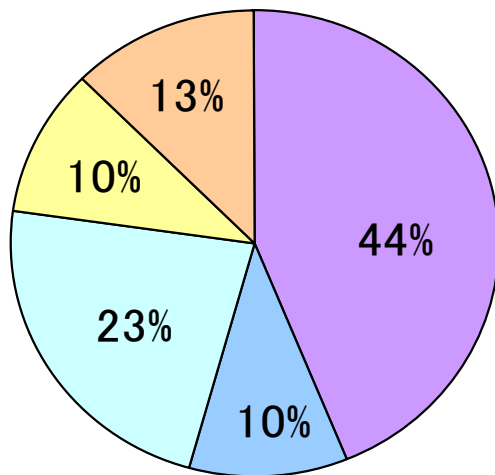
# アンケートにご協力頂いた方の業種別割合



	人数
①	4
②	4
③	0
④	27
⑤	3
⑥	10
合計	48

- ①年金基金もしくは母体企業の資産運用管理者
- ②金融機関の自己資産運用担当者
- ③大学財団など、その他法人の資産運用担当者
- ④投資運用業者(信託銀行を含む)
- ⑤コンサルタント
- ⑥その他

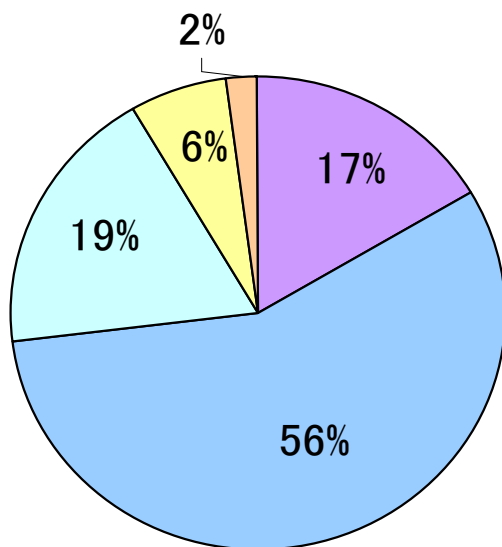
Q1 日本の株式の長期に及ぶ低迷の原因について、次のどれが重要だとお考えでしょうか。一番重要と思われるものを、一つだけお選びください。



	人数
①	21
②	5
③	11
④	5
⑤	6
合計	48

- ①人口減少に転じる見込みなど、マクロ経済的に、成長余力が乏しくなっていること。
- ②マクロ的な問題よりも、依然として間接金融機関(銀行等)の支配力が強く、資本市場の機能が弱いという、金融構造改革の遅れ。
- ③マクロ経済や金融市場の問題よりも、持ち合いや買収防止策に象徴されるような、日本企業の閉鎖性や、株主重視の姿勢の欠如などの、日本的経営風土の問題。
- ④マクロ経済、金融、経営などといったファンダメンタルなことが問題ではなくて、政治的、言語的、文化的に、国際的な理解を十分に得ていないこと。
- ⑤構造的な問題があるわけではなくて、需給等のテクニカルな問題にすぎない。
- ⑥その他

Q2 海外のファンドマネジャが海外から日本株を運用することと、日本のファンドマネジャが日本の中で日本株を運用することを対比したときに、どのように、お考えでしょうか。決定的要素と見られるものを一つだけお選びください。



	人数
①	8
②	27
③	9
④	3
⑤	1
合計	48

- ①現代の高度情報社会において、実質的な差があるはずもない。
- ②やはり、価値観や視点の差が、銘柄選択において現れるはずである。グローバル化した現代においては、海外から見た日本株という視点に、有利さがあるのではないか。
- ③やはり、言語の問題などもあって、日本企業の調査においては、日本のファンドマネジャの情報の優位は否定できないのではないか。
- ④その他
- ⑤無回答